

けた女性たち」として日本遺産に登録された。女性の社会進出が少ない中、この当時、100年間に5人の女帝が誕生している。持統天皇がおられた藤原京の大極殿の場所に母校があったため、持統天皇のことはよく聞いたが、飛鳥を翔けた女性たちについて詳しく聞きたい。

**答** 飛鳥・藤原時代に活躍した女性の1人、推古女帝は、橿原、明日香だけでなく、高取町で葉狩りを行い、これが端午の節句の起源となった。同時代の女帝たちが通った古代の道や女帝ゆかりの御陵があるなど、飛鳥・藤原時代を築いた女性たちの行動とその記憶が色濃く刻まれた地が、本市、明日香村、高取町である。飛鳥・藤原から江戸時代までの間で、8名で10代（重複あり）の女性の天皇がおられ、33代推古天皇、35代皇極天皇、37代斉明天皇、41代持統天皇、43代元明天皇が、飛鳥から平城へ移るまでの間に政治をつかさどったという点とで、注目されている。日本の国家の源流、最初の根幹、出発点をつくり上げた時代の女性を全面に出した。また、

女性天皇以外にも仏教の普及に積極的に当たった善信尼や、「万葉集」で有名な額田王など、女性を中心に取り上げ、本市・高取町・明日香村に分布している遺産40を申請している。

**問** 橿原・高取・明日香で日本遺産になれば、どういったメリットがあるのか。

**答** この事業は100%国の補助事業である。事業を進めるために、各自自治体、県、各商工会議所、観光協会や、大学にも入ってもらい日本遺産飛鳥魅力発信事業推進協議会を発足して、一緒に今後この戦略を立てていく。日本遺産が世界遺産に向けての1つの起爆剤だと思っている。多くの方々に来てもらい、気持ちよく帰ってもらえる仕掛けを考えたい。また、藤原宮跡は国の直轄事業であり、県や市も手伝い粛々と実施しているが半世紀が経っている。何とか世界遺産や日本遺産というネームバリューで積極的な整備をし、明日香村とも往来がしやすくなればと考えている。

## 今後の市政

**問** 橿原神宮の参道から西に向いて入り、その奥に医科大学を誘致する話がある。建設常任委員会、道路の拡幅に伴い現場視察をした。参道から西に向かう入り口には天皇陵があり、一部民間が所有する土地がある。参道から消防本部までの長い道路になるが、入り口付近は話が進んでいると聞くが、最後の出口の方は、どこまで道路を買い取るつもりか。道路拡張などの話は進んでいるのか。

**答** 計画道路の範囲は慈明寺町13号線と神武天皇陵の北側と綏靖天皇陵との間を参道から西へ延びる既存の市道（慈明寺町・四条町線）を合わせた1400mである。用地には、北側の綏靖天皇御陵が一部かかるため、京都の事務所と協議をし、協力を得られる予定である。農業総合センター1辺りの県有地は担当課と協議中である。御陵等に挟まれた辺りの民有地は、測量も終え事業への理解を得ている。西側は、これから道路認定の

同意を得ることが残っており、交渉には達していない。

**問** 全国に早急に架け替えなければいけない橋が50万個近くあると言われており、各自自治体の問題でもある。50年ぐらい経てば、セメントは腐敗するといわれている。橋を調査する技術は岐阜県が一番と言われており、こういったところも勉強してもらいたい。今後、橋をどのように守っていくのか。危ない橋は取りかえるのか、それとも補強するか。

**答** 本市には380を超える橋があり、50年経過する橋は2つある。危険か否かは、橋梁長寿命化修繕事業が始まり、それに則り、今後5年で、全ての橋を調査・点検していく。当面は、コンサルタント等に委託しての業務になるが、今後、調査・点検できる内部職員を専門職を育てたい。

**問** 他の議員の質問で、市長の3期目の立候補宣言と思われる発言があった。市長は2期8年間は何かしていないよいうな答弁をしていたが、例えば消防の広域化なども大きな事業であり、実績は堂々と言ってもらいたい。八木駅前も

議会の議決を得スタートし、何年もかけ進めてきている。何もしないのに自己採点100点というのはありえない。8年間頑張ってきた中で、やりたいことがあるかと思う。庁舎の建て替えや医大周辺の整備など大きなものもある。知事も良好な関係も築いている。もう一度、市長の考えを聞きたい。

**答** 何もしてこなかったわけではなく、8年間一つ一つ積み上げ、ようやく今の形ができた。まだ8年だが、その前に諸先輩方が長年いろんな施策をされてきた。今、すべての時期に来ていた。ようやく全ての諸条件が整い、国、県、地元、県立医科大学を含め歩調が合ってきたのは想定以上であり、今の状態は、スタートを切る前だが100点だと思っている。

**問** 本市の水道水は、自己水20%であったが、吉野の大滝ダムができたおかげで自己水は必要でなくなる。この分は飛鳥川へ流れるようになり、飛鳥川の水は1年中途切れることがなくなり、1年中魚が泳げる川になるのではと期待している。飛騨町の新河原橋